

帯広病院 21-4111
柳町医院 30-3111
白樺医院 38-3500
ケアセンター白樺 41-1165
白樺在宅総合センター 41-1167

十勝勤医協 友の会ニュース

医療法人 十勝勤労者医療協会

帯広市西9条南11丁目1番地

0155-21-4718

発行責任者 今野 光昭

URL: <http://www.tokachi-kin-ikyo.or.jp>
E-mail: soshiki@tokachi-kin-ikyo.or.jp

2017年秋・医療と介護の連携で、利用者が地域で安心して暮らせるよう「在宅介護総合センター白樺」を建設します。

はじめに

白樺エリアの在宅介護事業所は、現在、訪問看護、ヘルパー、ケアマネジャー、デイサービスがあり、好評をいただけてきました。一方で、医療、介護制度改定による度重なる利用者負担増、介護報酬削減、介護現場の慢性的な担い手不足などにより、利用者と家族が、必要な支援を十分に受けられない事例を経験してきました。今後、国が主導する給付削減ありきの地域包括ケアに押し流されてしまうと、利用者と家族、事業所、地域全体に、さらなる困難が拡大する恐れがあります。

この度、住み慣れた地域で安心して暮らしたいという、利用者と家族の思いにこたえるため、新規事業である「サービス付き高齢者住宅（40戸）」を併設する「在宅介護総合センター白樺」を建設し、在宅介護事業の拡大や質的強化をすすめることとしました。

新しい「在宅介護総合センター白樺」の特徴

建物は鉄骨造3階建てを白樺エリア内で移転新築。1階フロアでは、既存の訪問看護ステーション、ヘルパーステーション、ケアマネジャー、デイサービスセンターを設置し、事業の拡大や質的強化を図りながら、将来的には、地域の高齢者を支える24時間365日の提供を展望してまいります。

新規事業として、2階と3階に合計40戸の「サービス付き高齢者住宅」を設置します。白樺エリア内には十勝勤医協が運営する白樺医院、ケアセ

ンター白樺（入所、通所リハビリ、訪問リハビリ、ショートステイ）があり、かかりつけ医としての機能や、家族の介護負担軽減、およびリハビリテーション機能と連携していきます。

なお、隣接するショッピング街「ドリームタウン白樺」は、大型スーパー、ホームセンター、ドラッグストア、多種多様な飲食店が林立しており、非常に便利で賑やかな場となっています。

新事業「サービス付き高齢者住宅」について

サービス付き高齢者住

宅とは、国の「高齢者住まい法」で基準が決められている高齢者専用の賃貸住宅です。老人ホームとは違い、ご自身の生活スタイルを守りながら、ご自身のペースで自由にご入居することが出来ます。

1 入居対象となる方と提供可能なサービス

入居の対象となる方は、
① 60歳以上で、ご自身の身の回りのことができる方
② 介護認定を受け、介護保険サービスを利用しながら生活される方」としてまいります。

日々の安否確認、日常生活の困りごとへの対応に加えて、ご希望される方、必要な方には、様々な介護サービスの利用についてもご相談、ご紹介をすすめてまいります。お部屋からデイサービスや

かかりつけ医に通うことができます。また、お部屋に訪問看護、ヘルパーなどの訪問スタッフに来てもらうこともできます。サービス事業所の選択は自由です。もちろんセン

ター内の在宅介護サービス、白樺エリア内の医療、リハビリテーション、介護サービスを利用するこ

とも出来ます。

2 居室と設備など

2階と3階が住宅で部屋数は40戸です。建物内は段差のないバリアフリー構造で、廊下やトイレには手すりが付いているなど、高齢者に優しい造りです。全室が個室（約10畳、18㎡）となっています。また、全室にトイレ、洗面台、照明器具、クローゼット、暖房機、緊急通報設備がついています。電話配線、テレビ配線もあります。

3 ご用意いただくもの（おもなもの）

カーテンやカーペット、ベッド、寝具、電話、テレビ、冷蔵庫については入居時にご用意いただきます。各階に浴室と洗濯コーナー（コイン式）があります。浴室は予約制で、無料で使用していただけます。

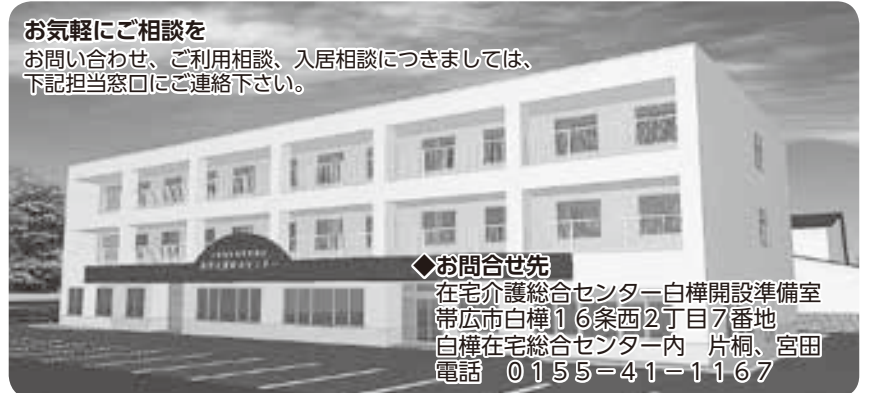
4 入居費用について

家賃、食費（3食）、管理費、暖房費などの実際にかかる費用をもとに設定しています。もちろん営利事業（利益を目的とする事業）とはしていません。

ヘルパーやデイサービスの費用は別途、介護保険適用後の1～2割の負担があります。

お気軽にご相談を

お問い合わせ、ご利用相談、入居相談につきましては、下記担当窓口にご連絡下さい。



◆お問合せ先

在宅介護総合センター白樺開設準備室
帯広市白樺16条西2丁目7番地
白樺在宅総合センター内 片桐、宮田
電話 0155-41-1167

〇おわりに

新しい「在宅介護総合センター白樺」は、利用者の住宅保障のみを目的とするものではありません。身近な利用者、家族と接するなかで、私たちがいっそう感じているのは、独居、老々介護、経済的困窮、認知症の利用者の困難と、地域全体で支える取り組みの必要性です。だれもが住み慣れた地域で、最後まで安心して、穏やかに暮らしていける「地域づくり」が求められます。これから非営利の立場を堅持しながら、この事業を通じて、友の会、地域、関係機関、他院、他事業所などとの、より幅広く、開かれた連携拠点としての機能強化を図ってまいります。

聴診器

▼今春、4月1日から帯広市で新しい総合事業が始まる。これは、現在の要支援者の訪問介護、通所介護を予防給付から外的受け皿であり、将来的には、要介護2以下のサービス全体を給付本体から切り離す際の受け皿として構想されている。▼帯広市では、訪問型サービスと現行相当サービスに他基準緩和の「てだすけサービス」、住民主体の「つながりサービス」を設けた。てだすけサービスは、報酬を現行の87%程度にし、人員基準を緩和、市が定める研修受講者等による生活援助を提供するものとなった。つながりサービスは、NPO法人や住民等がサービス提供者となり、介護予防の視点で、自主活動として生活援助を提供する内容だ。通所型サービスでは、現行相当から基準を緩和し、少人数を対象とした社会参加の機会として「ふれあいサービス」が設けられた。▼総合事業の内容は、市町村の資源の状況や市町村の財政力などによって事業内容が大きく左右される。介護保険という全国一律の制度にもかかわらず、市町村格差が今以上に拡大していく危険性がある。そもそも、保険料を納めた人に平等に給付を行うのが保険制度の大前提であり、要支援者のサービスを市町村の事業に移し替えることは、保険制度からいえば全く筋違いなことだ。新しい総合事業の実施中止、廃止を求め運動を地域一丸となつて強めよう（K）

シリーズ

憲法があぶない

衆参両院で3分の2の議席を占有した安倍自公政権にとって、今一番やりたいことは、予てからの構想であった憲法改正に手をつけることです。これは、歴代自民党政権でも出来なかったことです。小さな島国「日本」が世界に羽ばたき、他国を支配下に置き繁栄を夢見たのは戦前の大日本帝国でした。世界はそれを許さなかった。



十勝・しほろ「九条の会」事務局
和田 鶴三

おまけに世界で初めて行われた原爆投下。ヒロシマとナガサキに投下された原子爆弾は、そこに住んでいた人達17万人以上の尊い生命を奪い、72年を過ぎた今なお後遺症に悩まされています。敗戦後は反省の上を経て新しく生まれたのが現在の「新日本国憲法」です。時の権力者が勝手に憲法改正が出来ないように「立憲主義」が謳われています。この中で、二度と再び戦争を起こさせないとして書き込まれたのが「憲法第9条」です。しかし、戦後処理に当たった米国は、

その後も目下の同盟国として占領し続け、日本には置く事の出来ない軍隊の代わりに戦後まもなく警察予備隊を創設し、その後名前を変え、現在の自衛隊が生まれました。今日では活動と予算規模も大きくなり、時代に合わなくなつたという世論作りを進め、本格的に憲法改正に着手しようとしている「安倍政権」を見過していいはずはありません。運動と世論を広げ、現政権を少数に追い込み、未来のある日本を作っていくときです。

A氏(85歳・男性)は次女家族と二世帯住宅に住んでいます。生活はそれぞれ独立していました。10年前に妻が亡くなり次女家族の見守りがありながらの生活でした。昨年7月に転倒して身の周りのことが出来なくなりました。以前に長男が帯広病院に受診した際に高齢者に優しい印象を受けたため、帯広病院に受診、精神科へも通院しましたが、失禁状態になるなどあまり動くことが困難となり、家族での介護も限界を感じてアセナター白樺への入所相談となりました。

自宅での生活状況を伺うと、収入は年金の月2・4万円のみで何とかやりくり

医療・介護の現場から シリーズ⑦⑧

況でした。無料低額診療の対象となり精査目的で帯広病院に入院、その後ケアセンター白樺へ減免制度を利用

用して入所となりました。入所契約をした際に次女から「急に母が動けなくなつたこと、施設を利用するにもお金がかかることなど、不安な日々を過ごしていたが、無料低額診療や減免制度を受けることが出来て安心しました」と話されました。経済的困難を抱えた患者・利用者には無料低額診療や減免制度の活用を行っています。しかし、困っていることを発信できないでいる方が地域には多くいらつしやうと感じています。少しでも私たち民医連の活動が広まるよう地域に出て行く運動をすすめていきます。

【ケアセンター白樺事務局長

山本 圭介】

白樺医院で 地域無料健康相談開催

～どなたでも参加できますので、ぜひご参加ください～

●2月開催

日時 2月9日(木) 午後3時～4時
テーマ 「地域包括支援センターの役割」
場所 十勝勤医協白樺医院待合室
講師 地域包括支援センター 帯広市社会福祉協議会
コーディネーター 金井 正樹 氏

●3月開催

日時 3月9日(木) 午後3時～4時
テーマ 「小倉ドクターと何でもトーク」
場所 十勝勤医協白樺医院待合室
講師 十勝勤医協白樺医院院長 小倉 浩夫

《お問い合わせ先》

十勝勤医協白樺医院 担当：坪内 電話0155-38-3500

今年のデイケアクリスマス会は、例年に負けないくらい盛大に行われました。職員が、懐かしいドリフターズの少年少女合唱隊に扮して早口言葉を披露し、大いに笑いました。すぐにサンタの衣装に着替えて、ハンドベル演奏もしました。メインは、地域で活躍している合唱団エルデをお呼びして、唱歌やクリスマスソングをみんなで歌い、和やかな時間を過ごすこ

とができました。締めくくりは、プレゼントを抱えたサンタと、パート職員の手作り着ぐるみを着たトナカイが登場です。笑いとお歌に握手で応え、賑やかに会を終えました。気になるプレゼントは、年明けの干支「酉」の可愛らしい置物です。通所する全ての利用者さんにお配りするために、130個余りを手作りしました。

デイケアでは、季節感のある行事やお祝いの行事を利用者さんに喜んで頂けるように、練習や作業などの準備から心を込めています。これからも、「来て良かった。また来たい。」と思って休まず通って頂ける、楽しいデイケアを心

がけてケアしていきます。
【ケアセンター白樺副施設長
野口 寿恵】



【薬剤師の仕事】



抗菌薬を正しく使って未来に残そう

帯広病院薬剤主任 山口 章 江

・・・ 抗菌薬を未来に残すために ・・・

抗菌薬（抗生剤、抗生物質）は、細菌によって引き起こされる感染症を治療するための薬で、感染症の治療のために大切な薬剤です。しかし、近年、薬の効かない菌（薬剤耐性菌）が増加しています。病院の中だけでなく、病院の外でも増えているのです。このままでは感染症の治療が難しくなり、助かったはずの命を失うことにもなりかねません。薬剤耐性菌の増加を防ぎ、抗菌薬を将来の子どもたちに残すためにさまざまな対策がとられはじめています。中でも大切なのが、抗菌薬を必要なときに限って適切に使うことです。そのためにみなさんにもできることがあります。

SAVE antibiotics,
SAVE children

1. 必要がないときに抗菌薬をもらわない

抗菌薬は風邪（ウイルスによる感染症）には効きません。不必要な抗菌薬を飲むことは思わぬ副作用の原因となります。さらに口や腸にいる菌が薬の効かない菌（薬剤耐性菌）になってしまうかもしれません。必要がないときに抗菌薬をもらうのはやめましょう。医師は抗菌薬が必要な病気かどうかを見極めていきます。

2. 抗菌薬はきちんと飲みきりましょう

医師が抗菌薬を処方したときは指示通りに飲みきりましょう。体調がよくなったからと言って途中でやめないでください。途中でやめると治りきらなかったり、再び悪くなったりする原因となります。また、薬の効かない菌（薬剤耐性菌）が広がってしまうおそれもあります。

3. 残さない・あげない・もらわない

残しておいた抗菌薬を後で飲まないでください。抗菌薬を人にあげたり、もらったりしないでください。あるときに効果があっても別の病気に効くとは限りません。医師は感染症の種類や菌に合わせ、年齢や体格などをみながら抗菌薬を選んでいきます。後で飲んだり他人とやりとりをすることで、思わぬ副作用が出たり、薬の効かない菌（薬剤耐性菌）が広がってしまうおそれがあります。

4. 医師・薬剤師に
聞きましょう

病気や抗菌薬についてわからないことがあれば医師や薬剤師に相談しましょう。自分の病気や治療をよく知ることにはきちんと安全に治療するための第一歩です。



12月21日、22日の2日間で毎年恒例のクリスマス会を開催しました。今年も職員と余興2本立てで行いました。1本目は浅沼先生にも参加をお願いし、「ドリフのズンドコ節」を披露しました。2本目は「しよつきり相撲」を披露しました。力士に変身した職員を見て笑っている利用者さん、驚いた表情の



利用者さんもお楽しみでした。今年も職員と余興2本立てで行いました。1本目は浅沼先生にも参加をお願いし、「ドリフのズンドコ節」を披露しました。2本目は「しよつきり相撲」を披露しました。力士に変身した職員を見て笑っている利用者さん、驚いた表情の

利用者さんもお楽しみでした。今年も職員と余興2本立てで行いました。1本目は浅沼先生にも参加をお願いし、「ドリフのズンドコ節」を披露しました。2本目は「しよつきり相撲」を披露しました。力士に変身した職員を見て笑っている利用者さん、驚いた表情の

デイサービスセンター
すずらん毎年恒例の
クリスマス会開催！

平成28年12月20日（火）に白樺デイサービスセンターで、クリスマス会を行いました。ボランティアさんに依頼し「バンド演奏（ゴールデンスタース・舞踊（中山民族舞踊）」の慰問をして頂きました。

デイホールでも、利用者様の聞き慣れた音楽を流しているのですが、生バンドの演奏に合わせて唄う

ボランティアさんに依頼し「バンド演奏（ゴールデンスタース・舞踊（中山民族舞踊）」の慰問をして頂きました。

ボランティアさんの慰問後は、クリスマスのデコレーションケーキを作り、食べて頂きました。クリームや果物をロールケーキに飾りつけ、食べて頂きました。「生バンドの演奏に合わせて唄う

白樺デイサービス
センターほのか

クリスマス会



のも、雰囲気があつて楽しかった。」と喜ばれていました。今年も、地域の方の協力を受けながら、皆さんが楽しめる取り組みを続けて行きたいと思っています。

【白樺デイサービスセンターほのか
介護主任 西村 正直】



べ終わつた後、利用者さんに作成して頂いたミニクリスマスリースをプレゼントでお配りしました。最後はスライドショーを行い、1年間を振り返りました。

今年も2日間の開催でしたが、皆さんに楽しんで頂く事ができました。今後も色々行事を企画し、利用者さんに楽しい時間を過ごして頂けると願っています。

【デイサービスすずらん
介護主任 山上 登】

友の会連絡会「ナー」 ☎〇二五五・二二・四二四四

生き生き広場

「ガンになるリスクを減らす」健康相談会

広尾友の会

広尾友の会で2年ぶりに健康相談会を開催し、12名の方が「がんの予防について」を学びました。直前に家の前で転倒して骨折したので行けなくなった方や、急遽、腸炎で入院する方など欠席される方が続出し少人数の参加となりました。

と」の30分程度した後、ケアセンター白樺の野口副施設長と眞事務の眞田さんにお越しいただいて、血圧測定と尿検査後に、「がん予防・がんになるリスクを減らすために」の資料を基に詳しく説明していただきました。

今、日本人の2人に1人が一度はがんになると言うデータがあります。まさに、がんは我々の身近な病気ですその予防は非常に関心の高いところでもあります。生活習慣等に

冬に多い病気の紹介とその対処方法について学ぶ

札内東友の会

12月15日(木)定例で開

頭の体操

次の□の中に二字熟語(人名含む)ができるように漢字を入れてください。□に入った漢字を組み合わせてと答えになります。

出題者は長尾千恵子さんです。

原 緑 □ 習 適 □ 援
素 肉 □ 実 誤 □ 復 対 □ 援
結 青 □ 告 既 □ 告

よるがんの要員と、国立がんセンター等が研究した健康習慣の実践によるがんの予防法などについて学びました。

フロアからは、がん保険は、死因が「がん」でなければ支給されない場合がある。大腸内視鏡検査で2ミリの程のポリープが見つかったが、再検査は何年度が適当かなどの質疑が出された。

【広尾友の会 前崎 茂】

ヒント

自分の行動に責任をもとう

答え

□□□□

(漢字でご記入ください)

応募方法

解答とお名前、住所、電話番号をハガキかメールで、左記へお送りください。

宛先

○郵送

〒080-0019

帯広市西9条南11丁目

十勝勤医協会館内

友の会ニュース編集部

○メール

soshiki@tokachi-kin-

ikyo.or.jp

賞品

抽選で10人の方に、千円分の図書カードをお送

催しているふまねつとに23名の会員さんが参加されました。その後14時30分より約1時間、健康相談会を行いました。今回は冬に多い病気ということ、インフルエンザやノロウイルスの症状や対処方法について、勉強しました。参加の皆さんからは、「ノロにかかったことがないが、どう予防すればよいのか?」、「簡単な手洗いやうがい等では意味がないと聞いたが、本当なのだろうか?」等の質問が出され、ノロウイルスはかからないように予防することが重要であること、そのための消

りします。

【締め切り】
2月20日(当日消印有効)。発表は第395号(4月号)紙上です。

【第391号の当選者】
答えは「介護予防」でした。

応募総数53通、正解者52通の中から抽選により、次の10人の方が当選しました。(敬称略)

安藤 年広(帯広市)
大野 保子(帯広市)
笠谷 幸司(帯広市)
田畑 慶子(帯広市)
平井 宏子(帯広市)
藤原 雅広(帯広市)
吉岡 順子(帯広市)
伊賀 和子(幕別町)
茶畑 亜抄子(音更町)
眞田 政俊(小清水町)

毒方法等予防法についても説明をいただきました。相談会には15名の会員さんが参加され、希望者のみ血圧と尿検査も行いました。

【札内東友の会】



新年総会で

今年も始動

東友の会



今年も「出足早く」と1月8日(日)に東福祉センターで新年総会を行いました。次々と会員さんが元気な顔で集まってくれて、みんなで準備、楽

しい会話がはずみました。勤医協から看護師と事務の職員が来てくれ、血圧と尿検査で健康チェック。連絡会副会長の村上さんと職員の片桐さんも参加して下さり、情勢や友の会や勤医協の取り組みを話してくださいました。

高齢者住宅や介護、協力資金等に関心が高く、質問・意見が沢山出ていました。情勢や友の会や勤医協の取り組みを話してくださいました。「国民年金だけでも安心して暮らせるように...」と。

総会の後は楽しい懇親会。ご馳走をいただいた後はゲーム。今年はディスプレイ大会で大いに盛り上がり、景品をもらって大喜びでした。この日、リングブルをもつてきてくれた人、新入会員もいて元気な活動の始動となりました。

【東友の会 山口久美子】



あなたと民医連をつなぐ月刊誌

いつでも元気

MINIREN

2017 2月号 380円

好評発売中

巻頭エッセイ/共生 森川宏映

特集 神社はどうなっている?

民医連初 公立診療所の挑戦

楽しく育児ができるために 岡山

【けんこう教室】睡眠時無呼吸症候群 菊本直樹

食と健康 生活習慣病予防の食事

発行：民医連会館発行所 〒113 0033 東京都文京区 徳島2-4-4 民医連会館センター1階 電話 03-5647-6656(代) FAX 03-5642-3657

各友の会連絡先

- 【音更東】菅原 一晴 〇一五五・三一七〇九五
- 【音更西】増田 浩毅 〇一五五・三〇八八六〇
- 【音更南】坂本 恵子 〇一五五・三一六二六三
- 【音更北】中嶋 晴子 〇一五五・四二二一九九
- 【土 幌】和田 鶴三 〇一五六・四二二・四四三五
- 【上士幌】山本 政俊 〇一五六・四二二・三〇八九
- 【新 得】土山 武志 〇一五六・六四一・四七一六
- 【清 水】田中 けい子 〇一五六・六三三・三〇五六
- 【鹿 追】武田 耕次 〇一五六・六六二・二七五六
- 【芽 室】梅津 美政 〇一五六・六二二・二八五九
- 【中札内】西村 和正 〇一五六・六七二・七七七四
- 【更 別】大津寿美香 〇一八〇・六〇八・四三八七
- 【大 樹】有岡千恵子 〇一五五・八七五・二二二八
- 【広 尾】前崎 茂 〇一五五・八二二・四三四〇
- 【幕 別】小林 正明 〇一五五・五四四・五二二一
- 【札内東】鈴木志摩子 〇一五五・五六六・六七五七
- 【札内西】成沢 せい子 〇一五五・五六六・五九〇三
- 【忠 類】増田 武夫 〇一五五・八八八・二六〇七
- 【豊 頃】岩井 明 〇一五五・七四二・二六三四
- 【池 田】吉田 清治 〇一五五・七二二・八六一〇
- 【本 別】加藤 孝一 〇一五六・二二二・四八二二
- 【足 寄】田利美智子 〇一五六・二二五・四〇〇〇
- 【陸 別】黒沼 明美 〇一五六・二二七・二六六七
- 【東 川】加藤 みち 〇二三・六三二・一三八
- 【柏 川】加藤 昌明 〇二三・五五〇・八四
- 【光 南】村上 孝一 〇二五・五五八・八八
- 【鉄 南】牧野美智子 〇四七・八九六・五
- 【中 央】田村カオリ 〇二二・二六〇・七
- 【啓 北】内田 豊 〇三六・三八一・八
- 【栄 川】及川 洋子 〇九〇・五二二・三八三二
- 【開 西】岡本 顕 〇九〇・六四四・六五二一
- 【西帯広】清水美喜子 〇三七・二七二・八
- 【西 南】田所 豊之 〇二二・七五八・三
- 【緑ヶ丘】片石 祐一 〇三三・一四四・三
- 【白 樺】高宮 裕 〇三四・一八八・二
- 【新 緑】千田 濱子 〇二二・四四〇・八
- 【柏林台】横塚恵利子 〇一七・七九〇
- 【緑 西】村上久美子 〇三三・六八五・二
- 【稲田北】平 麗子 〇四八・〇七一・五
- 【稲田南】藤田 功 〇四八・六九五・一
- 【大 空】畑中 庸助 〇六〇・〇〇〇・九三六六
- 【川 西】伊沢佐恵子 〇六〇・二五〇・六
- 【大 正】岡山 幹男 〇六四・五五三